



宮永岳彦の 芸術



2025.12.13(土)

)

2026.6.7(日)

秦野市立 宮永岳彦記念美術館

| 開館時間 | 10:00~19:00 | 休館日 | 月曜日 (祝日の場合は翌日)

(入館時間は18:30まで)

12/28~1/2

| 観覧料 | 一般 300円 (隣接する「弘法の里湯」をご利用の方は200円)

高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

| 主催 | 秦野市

| 協力 | べんてる株式会社 小田急電鉄株式会社



宮永岳彦の芸術

2025. 12. 13(土) ～ 2026. 6. 7(日)

宮永岳彦(1919～1987)は、「光と影の華麗なる世界」と評される美しい女性像を描いた洋画家です。しかしそれだけにとどまらず、ポスター、雑誌の表紙、装丁、童画、水墨画など、幅広い分野の作品を制作しました。

宮永がグラフィックデザイナーとして最も活躍していた 1960 年代当時、広告や出版物などの「商業美術」は、芸術的価値を追求した「純粋芸術」に比べて軽視されていました。そうした風潮の中で、洋画家である宮永が「商業芸術」を手掛けることには、批判の声もありました。それでも宮永は、どの分野の作品にも真摯に向き合い、圧倒的な功績を残すことで、彼が描く全てのものが芸術であると示したのです。

本展では、宮永作品を年代順に紹介し、様々な作風の作品を並行して制作した多才さをご覧ください。「美しいものを描くことで社会の役に立ちたい」という願いを胸に、作品を描き続けた宮永の芸術をどうぞお楽しみください。



《聖マールガリータ(王女マルガリータ)想》
油彩画 1983 年



銀座松坂屋「全館完成大売出し」
ポスター 1952 年



《無題》油彩画 1962 年



『週刊漫画TIMES』表紙原画
1967 年



《舞妓》水墨画 1971 年



小田急「新宿⇄御殿場運転回数増加」ポスター 制作年不明

宮永岳彦 (1919～1987)



「光と影の華麗なる世界」と称される美人画で知られる宮永岳彦は、父親の転勤のため静岡県磐田郡（現在の磐田市）で生まれ、名古屋市立工芸学校に学びました。2度の兵役後、実家のある秦野に帰り、松坂屋百貨店銀座店宣伝部に勤務しながら、1946 年から 15 年間、秦野市名古木のアトリエで創作活動を続けました。二紀会の設立に参加、1979 年には日本芸術院賞を受賞、1986 年には二紀会理事長に就任。油彩画をはじめ、ポスター、童画、表紙画、挿絵、水墨画など多彩な作品を残しました。

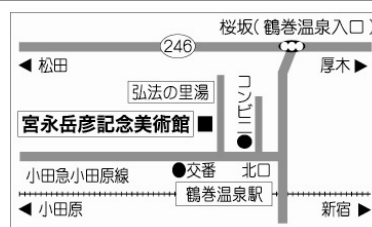
表 左上《海女》油彩 1952 年 右上《煌》油彩 1978 年、左下『チャイルドブック』昭和 41 年 5 月号表紙 1966 年 右下 第8回国際仮装行列ポスター 1960 年

秦野市立

宮永岳彦記念美術館

〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL/FAX 0463-78-9100

《隣接》公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL 0463-69-2641



美術館へのアクセス

- ◆ 小田急線 鶴巻温泉駅から徒歩 2 分
- ◆ 駐車場 弘法の里湯と共用 40 台 / 1 時間 150 円 以降 30 分ごとに 100 円